

4月20日(月)

神が与えて下さる契約

今日のカ

聖書朗読 エレミヤ 31:31~40

しかし今、キリストはさらにすぐれた努めを得られました。それは彼が、さらにすぐれた約束に基づいて制定された、さらにすぐれた契約の仲介者であるからです。

ヘブル 8:6

2026年4月20日～4月26日

翻訳 伊藤 若菜
編集 相川 忠義

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

あなたは取引の達人ですか？ 有利な契約を結んだり、相手を出し抜いたりするのが得意ですか？ たとえ良心の呵責を少し覚えるような取引であっても、それを成功させたなら、この世はあなたを称賛するかもしれません。

しかし、「神様が与えて下さる取引」（イエス様を通して結ばれた神の契約）は、この世が称賛する取引や契約とはまったく異なります。私たちは、神との契約を交渉して得るではありません。努力して勝ち取るのでもありません。神様からの「一方的な恵み」によって、私たちは神様との契約を頂いているのです。神様が全てを与えて下さり、私たちがただ受け取るだけの契約です。

しかし、それを受け取ることには、大きな意味があります。神様が与える契約を受け取るということは、イエス様を私たちの人生の唯一の支配者（私たちの王、主、救い主）として、イエス様に自分自身を委ねることです。その「委ねること」さえも、神様からの恵みによって可能となるのです。そして、私たちが、神様が与える契約を受け入れるとき、神様は私たちを御自身と結びつけて下さるだけでなく、他のクリスチャンたちとも（神様の家族として）結びつけて下さるのです。

神が与える契約は、私たちの力で勝ち取る契約では決してありません。ですから、狡猾な交渉者になる必要はないのです！ 神が与える契約は、私たちが受けるに値する以上の恵みであり、決して終わらない神の約束によるものです。

讃美歌 280 わが身ののぞみは

祈り 神様、あなたと共に、生きる命を与えてくださり感謝します。それは私たちが望む以上の恵みです。主イエス様との交わり、そしてクリスチャンとの交わりへと私たちをお導き下さい。イエス様の御名によりお祈りいたします。アーメン。

4月21日(火)

人知を超えた素晴らしい神の御心

聖書朗読 エゼキエル 4:4~8

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。

箴言 3:5

エゼキエルは、神から非常に奇妙な命令を受けた人の一人です。神様はエゼキエルに、意味を理解しがたい、奇妙としか言いようのないことを命じられました。一年以上も横たわり続けること。巻物を食べること。粘土板にエルサレムの町を描くこと。壁を掘ること。妻が死んでも嘆き悲しまないこと。どの命令も、にわかにはその意味を理解できない命令であり、普通なら従いたくない命令です。

私にとってどれが一番辛いかは分かりません。一年以上も横向きに寝続けるのは確かに大変でしょう。しかし最愛の配偶者を失って悲しみを表さないなんて、想像すら出来ません。それでもエゼキエルはただ従いました。エゼキエルは、どこまでも神に忠実に従いました。神様が命じられたからというだけの理由で、エゼキエルは、神の奇妙な命令に従い続けました。

このエゼキエルに関する出来事は、「神様の御心は、私たちにとって出来ればやりたくない(避けたい)ことである場合が多々ある」ということを教えているのではないのでしょうか。例えば、周りの人々に福音を伝えることは、(大切だとわかっていたとしても)、私たちにとって勇気が要り、躊躇しがちなことかもしれません。あるいは、教会の奉仕として何か新しいことにチャレンジすることも同様かもしれません。しかし、そうした機会が訪れた時は、エゼキエルを思い出してください。神様の御心は、(今は奇妙で出来れば避けたいと思えるようなことであっても)私たちの思いを超えて素晴らしい目的のためにあるのです。

聖歌 500 みことばなる

祈り 天のお父様、私たちを導いてくださり感謝します。あなたが示す道が、たとえ私たちにとって心地の良い道ではなかったとしても、あなたに信頼し、あなたの召しに従うことができますように。イエス様の御名によりお祈りいたします。アーメン。

インディアナ州ラファイエット / ジョシュ・ボイド

4月22日(水)

あなただけのためではない

聖書朗読 エゼキエル 36:22~32

わたしは、このわたしは、わたし自身のためにあなたのそむきの罪をぬぐい去り、もうあなたの罪を思い出さない。
イザヤ 43:25

イスラエル人たちがエゼキエルの言葉を聞いた時、イスラエル人たちは「感謝します!あれ、でも今何て言いました?」と思ったかもしれません。彼らは故郷に帰還出来る望みもほとんどないまま、捕囚先の地で暮らしていました。するとエゼキエルは、神様が彼らを捕囚の地から救う計画がある、と告げたのです。さらに神様は、その救いの計画は、単に(当時の)イスラエル人たちだけのためにあるのではない、と言われたのです。つまり、神のご計画は、単にイスラエル人が安らかにそして自由に生きることが出来るための計画ではなく、神様は約束を必ず守られる素晴らしいお方であることを世界中の人々に示すための計画だったのです。ですから、本日の聖書箇所言葉は、当時のイスラエル人たちに対してのみならず、今日の私たちに対しても、神様の素晴らしさを示す良い知らせなのです。

私たちはエゼキエルを通して語られた神様の言葉に、注意深く耳を傾けましょう。神様の救いは、私たちだけのためではありません。それは被造物全体を救い出す神様のご計画なのです。ですから、私たちが救われたのは、私たち自身のためだけでなく、救いを通して神様の素晴らしさが現わされ、それを見たほかの人々も救われるためなのです。これは、実に良い知らせです。こうして、神様の救いのご計画を通して、私たちは神様に似る者とされ、神様の素晴らしさを現わす器として用いられるのです。

神様の愛は私たちで終わってはなりません。私たちは、全世界に注がれている神様の愛の導管となるよう召されているのです。「神は、その独り子をお与えになったほどに、この世を愛された」。この真の福音を、分かち合いましょう!

讚美歌 90 ここもかみの

祈り 神様、あなたの救いの恵みはなんと驚くべきことでしょう。世界が私たちを通してあなたの素晴らしさを見ることができるよう。イエス様の御名によって。アーメン。

テネシー州ブレントウッド / アール・D・ラベンダ

4月23日(木)

声に出して歌おう

聖書朗読 ゼパニヤ 3:14~20

あなたの神、主は、あなたのただ中におられる。救いの勇士だ。主は喜びをもってあなたのことを楽しみ、その愛によって安らぎを与える。主は高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる。
ゼパニヤ 3:17

困難に直面した時、私たちは、より良い日が来ることを想像して、その日を待ち望みます。病気や悲劇的な出来事によって苦しめられる時、あるいは心に疲れを感じる時、明日はもっと良い日であることを切に願います。

預言者ゼパニヤも、その預言において、最初は神による厳しい裁きについて語りますが、第3章からは「より良い日」つまり希望について語り始めます。ゼパニヤは、喜びと回復の時が来ることを示し、歌と歓喜(3:14)、赦しと確信(3:15)、力と慰め(3:16~17)について語ります。最も印象的なのは、神様ご自身が民に加わり、勝利を喜び、声高らかに歌われる、ということではないでしょうか。

ゼパニヤが描いている光景は、なんと力強い光景でしょうか。宇宙の創造主ご自身が声高らかに歌われるとは！

試練と直面し心が暗くなってしまう時、ゼパニヤが示したこの約束を思い起こしましょう。悲しみが歌に変わる日が来ます。その時私たちは神様ご自身と共に声高らかに歌い、終わることのない喜びで満たされるのです。その時が来るまで、たとえ今は難しい状況の中でも、この希望を思い起こして神を賛美し続けましょう。私たちには、神様が約束しておられる素晴らしい祝福が用意されているのですから。

讃美歌 298 やすかれ、わがこころよ

祈り 神様、困難な日々において、あなたの約束を私たちに思い出させてください。あなたによって与えられている終わることのない希望に感謝します。イエス様の御名によって。アーメン。

オクラホマ州エドモンド / ハロルド・シャンク

4月24日(金)

試練からの脱出

聖書朗読 マタイ 4:1~11

あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。

コリント I 10:13

読み進める前に、一旦立ち止まってください！そして、あなたが今まさに戦っている誘惑を一つ思い浮かべてください。

聖書は一貫して、人がいつも誘惑にさらされていることを述べています。創世記では、エバが蛇の誘惑に遭いました(創世記3:1~6)。マタイの福音書では、イエス様が荒野でサタンの誘惑に直面しました(マタイ4:1~11)。エバとイエス様の誘惑への対処方法を比べてみると、私たちがどう誘惑に対処したらよいかも見えてきます。エバは蛇の声に聞き従い、イエス様は神様の声(みことば)に聞き従いました。つまり、エバは偽りの声に聞き従い、イエス様は真理に聞き従ったのです。エバは偽りを信じて行動し、その結果、罪へ至ってしまいました。対照的にイエス様は神の言葉を確信し、神の言葉を根拠にして行動し、その結果、誘惑に勝利されました。

あなたが直面する誘惑の大小を問わず、頻繁であれ稀であれ、イエス様の模範に従いましょう。あなたの心に触れる聖句を見つけましょう。それをカードに書いて、机や鏡、コンピューターなど目につきやすい場所に貼り、暗記するのも良いでしょう。なぜなら、神様の約束は確かで揺らぎないものだからです。神様は、常に、私たちに試練からの脱出の道を備えておられます。

讃美歌 187 主よ、いのちのことばを

祈り 父なる神様、私たちが直面する誘惑から脱出する道を備えて下さるという約束に感謝します。イエス様をお手本として、私たちも誘惑から脱出することが出来ますよう、助け導いてください。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

オクラホマ州エドモンド / サリー・J・シャンク

4月25日（土）

百人隊長の信仰

聖書朗読 マタイ 8:5～10

しかし主は言われた、「もしあなたがたに、からし種ほどの信仰があったなら、この桑の木に、『根こそぎ海の中に植われ』と言えば、言いつけどおりになるのです。』」

ルカ 17:6

本日の聖書箇所が登場する百人隊長は、問題と直面していました。彼のしもべが病気で苦しみ、家で横たわっていたからです。ルカの福音書によれば、そのしもべは非常に有能な者でしたが、瀕死の状態でした。百人隊長はイエス様の噂を聞き、そしてイエス様に助けを求めたのです。

イエス様は、家に行ってもべを癒すことを承諾されたのですが、百人隊長はイエス様を家に招く資格は自分にはない、と考えました。（軍人として）普段、命令を下し従わせることに慣れてきた隊長は、ただイエス様に一言おっしゃるようお願いしました。するとその瞬間、彼のしもべは癒されたのです。

イエス様は、百人隊長の信仰に驚かれました。なぜなら彼はユダヤ人信者ではなく異邦人だったからです。実際、この異邦人はユダヤ人信者たちよりもイエス様への信仰が篤かったと言えます。信仰は身分や民族的背景で決まるものではありません。イエス様が語られる時、その言葉こそが私たちの人生を変えるのです。

讃美歌 270 信仰こそ旅路をみちびく杖

祈り 主よ、この百人隊長の信仰を私たちに与え、からし種ほどの小さな信仰も大きな力があることを覚えさせてください。あなたがその信仰を通して、また私たちを通して働いてくださるからです。イエス様の御名によって。アーメン。

テネシー州ナッシュビル / リチャード・トンブソン

4月26日（日）

あなたの怒りは正しいのか？

聖書朗読 マタイ 12:38～44

主は仰せられる。「ただ、あなたがわたしのしもべとなって、ヤコブの諸部族を立て、イスラエルのとどめられている者たちを帰らせるだけではない。わたしはあなたを諸国の民の光とし、地の果てにまでわたしの救いをもたらす者とする。」

イザヤ 49:6

聖書には、対照的なことがたくさん書かれています。ヨナは神様から与えられた使命から逃れようとして、魚の腹の中に飲み込まれました。それに対し、イエス様は神様から与えられた使命のために自ら進んで地上という腹の中に来てくださいました。本日の聖書箇所では、（悔い改めた）ニネベの人々が、（悔い改めない）パリサイ人を裁くと書かれています。ニネベ人とパリサイ人は対照的です。そんなニネベの人々に対するヨナの態度はどうだったのでしょうか。ヨナは、ニネベの町の人々の救いよりも、ヨナに日陰を提供した植物をより大切にしました。

弟子たちは、ヨナと少し似ているかもしれませんが。というのも、弟子たちも、彼らが気に入らないサマリア人に火を降らせようとするなど、サマリア人に対して慈しみの心を持たなかったからです。同じように私たちも、私たちと意見を異にする人々を軽蔑して裁きたくなくなってしまうことがあります。しかしイエス様は、私たちにこう問いかけているのではないのでしょうか。「あなたの人生におけるニネベの人々、つまり愛し難く、非難しやすい人たちは誰ですか？」と。

私たちが憎しみの感情を持つとき、私たちは私たち自身を苦しめることになります。しかし、どんな人をも愛されたイエス様をお手本として生きようとするとき、私たちの人生は大きく変わります。イエス様は十字架上で「父よ、彼らをお赦しください。彼らは、自分のしていることがわからないのです」と祈られました。こんにち神様は私たちに問うておられます。「あなたの怒りは正しいのか？ 私がすべての人々を慈しむように、あなたもすべての人々を慈しむべきではないのか？」と。

讃美歌 502 いともかしこし

祈り 親愛なるお父様、イエス様が愛されたように私たちも周囲の人々を愛せるようお導き下さい。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州ラボック / デイヴィッド・ラングフォード